

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年6月27日現在

機関番号：32632

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2012

課題番号：20520179

研究課題名（和文） 西鶴以降の浮世草子の研究

研究課題名（英文） Study of Ukiyo-zoshi after Saikaku

研究代表者

佐伯孝弘（SAEKI TAKAHIRO）

清泉女子大学・文学部・教授

研究者番号：40255956

研究成果の概要（和文）：西鶴と浮世草子『研究』シリーズ全5巻（笠間書院）を完結させた。且つ、同シリーズに「西鶴・浮世草子 研究文献目録」を連載し、明治期から平成21年までの分を公表。未翻刻浮世草子の影印と昭和37年以前の入手しにくい研究論文を収録した『浮世草子研究叢書』全7巻（クレス出版）と、近世語研究に役立つ『八文字屋本全集』全23巻の主要語句索引を刊行。加えて、『浮世草子事典』（笠間書院より刊行予定）の編集に着手。その他、浮世草子研究会で注釈を付けつつ精読した『儻偶（てれん）用心記』（月尋堂（げつじんどう）作、未翻刻）の注釈の成果の公表すべく準備中。各人が、浮世草子と様々な事象（同時期の実事件や、他ジャンルの文芸）との関連につき考察を進め、複数の学術雑誌に論文を発表した。

研究成果の概要（英文）：Studies on Ukiyo-zoshi after Saikaku

We completed the five volumes of our series *Saikaku to ukiyo-zoshi kenkyu* (Studies on Saikaku and ukiyo-zoshi), published by Kasama Shoin. In this same series we have also included the *Saikaku ukiyo-zoshi kenkyu bunken mokuroku* (Catalogue of Reference Materials on Saikaku and ukiyo-zoshi), which covers reference materials from the Meiji era through 2009. We also published all of the seven volumes of *Ukiyo-zoshi kenkyu shiryo sosho* (Ukiyo-zoshi Research Reports) (Kuresu Publications), which includes the publication of formerly not-reprinted ukiyo-zoshi materials and difficult-to-obtain records from reports dating from prior to 1962, as well as an index of major words and expressions in the 23 volumes of *Hachimonjiya-bon*, which is useful for studying modern language. Furthermore, we are working on the publication of *Ukiyo-zoshi jiten* (Encyclopedia of ukiyo-zoshi), to be published by Kasama Shoin. In addition, our ukiyo-zoshi research group has been preparing for the publication of an annotated commentary on *Teren-yojinki*, written by Getujindo, which is the product of our close reading and interpretation. We have all studied the relationships between ukiyo-zoshi and their surrounding phenomena (actual historical events and other literature) and individually contributed our papers to various academic journals and publications.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	900,000	270,000	1,170,000
2009年度	600,000	180,000	780,000
2010年度	600,000	180,000	780,000
2011年度	600,000	180,000	780,000
2012年度	800,000	240,000	1,040,000
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：西鶴・浮世草子・八文字屋本・江島其磧・永井堂亀友・近世怪異小説・西沢一風・西川祐信

1. 研究開始当初の背景

2. (1) 西鶴は明治以降膨大な研究上の蓄積がある。しかし、西鶴以外の浮世草子作品(約100年に亘る期間に500数十作品が刊行される)については、長谷川強氏の『浮世草子考証年表』(青裳堂書店)・『浮世草子の研究』(汲古書院)以外総括的研究はなく、個別の作者・作品についても、研究が立ち後れている。

(2) 西鶴作品以外の浮世草子は、未翻刻作品も多く、注釈も未整備である。

(3) 近世小説の中で、仮名草子・読本・洒落本・黄表紙については事典や解題、話型索引等が出されているが、浮世草子については未だ存在しない。

2. 研究の目的

(1) 西鶴以外は研究の立ち後れている、浮世草子研究の基盤を構築する。具体的には事典や研究文献目録を作成・刊行すると共に、未翻刻の浮世草子作品の翻刻・注釈作業を進める。

(2) 他ジャンルの研究者や一般の方達へ、少しでも浮世草子の魅力を伝え関心を促し、且つジャンルを超えた学際的研究を進める

3. 研究の方法

(1) 笠間書院より刊行の『西鶴と浮世草子研究』(全5巻、平成18~23年、笠間書院)を、各巻テーマを明確に打ち出しつつ(1メディア、2怪異、3金銭、4性愛、5芸能)刊行する。

(2) 『西鶴と浮世草子 研究文献目録』を詳細な索引付きで刊行する。

(3) 毎月開催する浮世草子研究会例会で精読した作品につき、注釈の成果を公表する。

(4) 重要作品でありながら未翻刻のままの作品の本文の、翻刻をする。

(5) 『好色一代男』(天和2年・1682年刊)以降凡そ100年に亘り全500余作品程が刊行された浮世草子前作を網羅する『浮世草子事典』(笠間書院より刊行予定)を刊行する。

(6) 『八文字屋本全集』全23巻の主要語句索引を作成し、近世中期の作品注釈の資料とすると共に、近世語研究の一助とする。

4. 研究成果

上記「研究の目的」欄の番号毎に記す。

(1) 『西鶴と浮世草子 研究』は、第3巻

(平成22年5月)・同別冊(平成22年2月)、第4巻(平成22年11月)、第5巻(平成23年6月)を出し、同シリーズを完結。研究グループのメンバーが、各巻の編集責任を担ったり編集作業に大きく関わったりした。

(2) 浮世草子に関する昭和37年以前の研究論文で、現在入手しにくい物を集めた『浮世草子研究資料叢書』第5~7巻(平成20年、クレス出版)を編集・刊行。解題で、昭和37年迄の浮世草子研究史概説や研究論文・解題目録を纏めた。また、上記『西鶴と浮世草子研究』の紙面に、「西鶴・浮世草子 研究文献目録」(明治期~平成21年)を分載。それを増補整備しつつ、詳細な索引を付すため、全文献からキーワードを抽出する作業を進めた。

(3)(4) 上記『浮世草子研究叢書』第1~4巻に(平成20年、クレス出版)に、好色物・怪異物・奇談物・古典やつし物・時事物・雑話物の未翻刻の浮世草子作品の影印を収録し刊行。浮世草子研究会例会で、『儻偶用心記す精(月尋堂作、未翻刻)の本文整備と注釈作業を進めた。

(5) 本研究の推進母体である浮世草子研究会に加え、西鶴研究会の全面的な協力を得て、更に一部他ジャンルの研究者にも協力を仰ぎつつ、『浮世草子事典』の編集作業を進行中。同事典は、浮世草子中の挿絵を多く載せ絵引き索引も付して、江戸時代の風俗資料の役割を持たせることを目玉の一つとしており、掲載する挿絵の選定作業を行った。

(6) 長谷川(倉員)正江が中心となり、長谷川強氏の監修の下、井上和人ら浮世草子研究会会員も多く協力して『八文字屋本全集索引』(平成25年3月)を完成させた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計38件)うち、書評・目録・対談等14件

佐伯孝弘

(論文)

○『「役者口三味線」後の其磧の〈揺れ〉—『役者万年暦』をめぐる—』(『日本文学』57巻10号、平成20年10月、pp12~22)

○「近世前期怪異小説と笑い」(『日本研究』〈高麗大学校〉13号、平成22年2月) pp217~245

- 「『世間子息気質』考—その面白さと新しさ—」(『西鶴と浮世草子 研究』3号別冊、平成22年2月) pp3~13
 - 「八文字屋本の挿絵—西川祐信を中心に—」(『解釈と鑑賞』75巻8号、平成22年7月) pp29~37
 - 「近世前期怪異小説と笑い」(ハワード・ピペット+文学と笑い研究会編『笑いと創造第6集 基礎完成編』平成22年12月、勉誠出版) pp327~346
 - 「近世前期怪異小説の諸相—「怪異を信ずるか否か」の視点から—」(『清泉文苑』29号、平成24年3月) pp19~33
 - 「近世文学における怪異と猫」(『清泉女子大学人文科学研究紀要』34号、平成25年3月) pp45~73
 - (その他)
 - 「『西鶴と浮世草子 研究』第2巻〈特集・怪異〉の目指すもの」(一柳廣孝・吉田司雄編『(ナイトミア叢書6) 女は変身する』平成20年5月、青弓社) pp201~203
 - 「『日本の古典をよむ 18』世間胸算用・万の文反古・東海道中膝栗毛」(平成20年12月、小学館)「はじめに—町人文学の魅力—」 pp3~5、「『世間胸算用』あらすじ」 pp12・13、「『万の文反古』あらすじ」 pp106・107、「『東海道中膝栗毛』あらすじ」 pp156・157、「解説」 pp308~317
 - 「西鶴・浮世草子研究文献目録(稿)〔昭和45~60年〕(鈴木智恵子・菊池庸介・市毛舞子・田中仁と共編) (『西鶴と浮世草子 研究』3号別冊、平成22年2月) pp218~318
 - 「西鶴と浮世草子 最新文献ガイド〔平成19年版〕(菊池庸介・水谷隆之と共編) (『西鶴と浮世草子 研究』3号、平成22年5月) pp217~241
 - 「西鶴と浮世草子 最新文献ガイド〔平成15~19年補遺〕(菊池庸介・水谷隆之と共編) (『西鶴と浮世草子』4号、平成22年11月) pp271~285
- 篠原進
(論文)
- 「二つの笑い—『新可笑記』と寓言—」(『国語と国文学』85巻6号、平成20年6月) pp1~17
 - 「ミネルバの鼻の行方—『世間狙』と『妾形気』のあいだ—」(『文学』(隔月刊)10巻1号、平成21年1月) pp129~141
 - 「「怪を談ずるの」ユートピア—荻坊奥路の位置—」(『青山語文』39号、平成21年3月) pp49~66
 - 「浮世草子の〈毒〉と奇想」(青山学院大学文学部日本文学科編『文学という毒—諷刺・パラドックス・反権力』平成21年、笠間書院) pp113~126
 - 「ちやつちやむちやくの人—永井堂亀友の

- 浮世草子—」(『西鶴と浮世草子 研究』3号別冊、平成22年2月) pp15~45
 - 「末期浮世草子研究—其鳳と一芳—」(『青山語文』平成22年3月) pp41~58
 - 「青い聖痕の神話—浮世草子『和漢乗合船』の位置—」(『青山語文』41号、平成23年3月) pp35~50
 - 「西鶴の無意識—〈矢数俳諧〉前夜—」(『青山語文』42号、平成24年3月) pp169~186
 - 「引用の修辞学—切り裂き魔・西鶴—」(谷脇理史・広嶋進編『〈西鶴を楽しむ別冊2〉新視点による西鶴への誘い』平成23年、清文堂出版) pp219~261
 - 「あらすじの外側にある物語—『新可笑記』の表現構造—」(『青山語文』42号、平成25年3月) pp103~122
 - (その他)
 - 「西鶴・浮世草子研究文献目録(稿)〔昭和61~63年〕(岡島由佳・神山瑞生・檜山裕子・藤井史果・宮本祐規子等と共編) (『西鶴と浮世草子 研究』3号別冊、平成22年2月) pp200~216
 - 「〈紹介〉谷脇理史他『西鶴を楽しむ』(清文堂出版・全6冊+別巻1シリーズ)」(『西鶴と浮世草子 研究』3号、平成22年5月) pp213~216
 - 「西鶴・浮世草子研究文献目録(稿)〔平成元年~7年〕(『西鶴と浮世草子 研究』4号、平成22年11月) pp287~326
 - 「西鶴・浮世草子研究文献目録(稿)〔平成8~14年〕(『西鶴と浮世草子 研究』5号、平成23年6月) pp261~291
- 倉員(長谷川)正江
(論文)
- 「菓子をととした小姓の話—実録『細川の血達磨』と浮世草子—」(『解釈と鑑賞』74巻3号、平成21年3月) pp118~125
 - 「渋谷幽軒著『北窗俚談』に見る仮名草子・浮世草子の享受—近世説話と教訓性を再考する—」(『西鶴と浮世草子 研究』3号別冊、平成22年2月) pp pp47~62
 - 「江嶋其磧作西川祐信画『女中風俗玉鏡』の初版と覆刻版をめぐって」(鈴木淳・浅野秀剛編『江戸の絵本』平成22年、八木書店) pp109~136
 - 「再説・野村増右衛門事件の顛化—実録『焼蛤野村錦』をめぐって—」(『近世文芸研究と評論』79号、平成22年11月) pp28~39
 - 「『今川一睡記』の典拠再考」(『人間科学研究』(日本大学生物資源科学部 人文社会系研究紀要)10号、平成25年3月) pp246~268
 - (その他)
 - 「西鶴・浮世草子研究文献目録(稿)〔昭和36年~44年〕(『西鶴と浮世草子 研究』3号、平成22年5月) pp243~264

○「学界時評 近世」(『アナホリッシュ 國文学』平成 25 年 3 月) pp182~183

杉本和寛

(論文)

○「〈研究史を知る〉錦文流」(『西鶴と浮世草子 研究』4 号、平成 22 年 11 月) pp251~253

○「零本『好色闇魔歌舞記』小考」(『東京藝術大学音楽学部紀要』38 号、平成 25 年 3 月) pp21~36

(その他)

○「〈対談〉貨幣博物館で学ぶ近世の貨幣」(杉本好伸・藤井典子と共編)(『西鶴と浮世草子 研究』3 号、平成 22 年 5 月) pp22~32

○CD-R「西鶴作品八文字屋本の金銭用例一覧」(杉本好伸と共編)(『西鶴と浮世草子 研究』3 号、平成 22 年 5 月) 付録

佐伯孝弘・杉本和寛

(その他)

○「西鶴と浮世草子 最新文献ガイド〔平成 20・21 年版〕」(菊池庸介・水谷隆之と共編)(『西鶴と浮世草子 研究』5 号、平成 23 年 6 月) pp293~326

[学会発表] (計 6 件)

佐伯孝弘

○「近世前期怪異小説と笑い」高麗大学校日本研究センター日本学シンポジウム「江戸文学の中心と周縁」、平成 21 年 9 月 18 日 (於) 韓国高麗大学校

○「日本の幽霊と妖怪—その研究史と怪異観の変遷—」高麗大学校民族文化研究院シンポジウム「アジアの鬼神」、平成 24 年 3 月 30 日 (於) 韓国高麗大学校

篠原進

○「村上春樹という逆説—浮世草子・寓言・レトリック—」日本文学協会第 63 回大会 (大会テーマ「共同制作される世界—〈文学〉の混沌に向き合う—」平成 20 年 11 月 23 日 (於) 二松学舎大学

○シンポジウム「ことばの魔術師—西鶴の俳諧と浮世草子—」司会、柿衛文庫・西鶴研究会共催、公開シンポジウム、平成 23 年 9 月 10 日 (於) 柿衛文庫

○「木越俊介氏の挑発に答える」西鶴研究会平成 25 年春季例会、平成 25 年 3 月 21 日 (於) 青山学院大学

長谷川 (倉員) 正江

○「江島其磧作・西川祐信画『女中風俗玉鏡』の初版と覆刻版をめぐって」国際絵本シンポジウム「江戸の絵本・画譜」平成 20 年 6 月 29 日 (於) 国文学研究資料館

[図書] (計 5 件)

佐伯孝弘・長谷川 (倉員) 正江 (共編)

○『浮世草子研究資料叢書』全 7 巻 (平成 20 年、クレス出版) 各巻平均 670 頁

篠原進

○『〈三弥井古典文庫〉西鶴諸国はなし』(西鶴研究会の染谷智幸・有働裕と共編、平成 20 年、全 219 頁)、うちち、「永遠のバロック—『西鶴諸国はなし』は終わらない—」「巻五の七 銀が落としてある—反転する陽画—」(全 10 頁)の項目を執筆。

長谷川 (倉員) 正江

○『西鶴と浮世草子 研究』5 号 (特集・芸能) (原道生・河合眞澄と共編、平成 23 年 6 月、笠間書院) 全 363 頁

○『八文字屋本全集索引』(長谷川強監修、井上和人・高橋明彦・花田富二夫・藤原英城と共編) 平成 25 年 3 月、汲古書院、全 1180 頁

杉本和寛

○『西鶴と浮世草子 研究』3 号 (特集・金銭) (谷脇理史・杉本好伸と共編、平成 22 年 5 月、笠間書院) 全 285 頁

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :
発明者 :
権利者 :
種類 :
番号 :
出願年月日 :
国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :
発明者 :
権利者 :
種類 :
番号 :
取得年月日 :
国内外の別 :

[その他]

ホームページ等
無し。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐伯孝弘 (SAEKI TAKAHIRO)
清泉女子大学 文学部 教授
研究者番号：4 0 2 5 5 9 5 6

(2) 研究分担者

篠原進 (SINOHARA SUSUMU)
青山学院大学 文学部 教授
研究者番号：8 0 1 3 3 2 7 1

長谷川 (倉員) 正江
(HASEGAWA (KURAKAZU) MASAE)
日本大学 海洋資源科学部 教授
研究者番号：7 0 3 0 7 1 8 7

杉本和寛 (SUGIMOTO KAZUHIRO)
東京芸術大学 音楽学部 教授
研究者番号：4 0 2 8 2 5 4 5

(3) 連携研究者

()

研究者番号：